

内閣総理大臣 岸田文雄殿

核兵器禁止条約第1回締約国会議への不参加決定に 強く抗議する

貴職は、昨日（15日）の記者会見で、6月21日からウィーンで開催される核兵器禁止条約第1回締約国会議への不参加を表明した。

世論調査で7割を超える国民が核兵器禁止条約への参加を求め、締約国会議へのオブザーバー参加は85%に達しているにもかかわらず、不参加を決めたことは、被爆国の国民を裏切るものであり強く抗議する。

貴職は、「核兵器国は一国も参加していない。唯一の同盟国である米国との信頼関係の下、現実的な核軍縮・不拡散を進める」と述べているが、ロシアのプーチン大統領が核兵器による威嚇を繰り返し、北朝鮮の動きを見ても、核兵器廃絶がいまほど強く求められている時はなく、核兵器禁止条約に参加する諸国政府との協力は不可欠である。

世界で唯一、国民が核の攻撃を体験し、その悲惨さを知る国として、アメリカの核兵器への依存をやめ、核兵器の禁止、廃絶のために誠実に努力することを強く求める。

2022年6月16日 原水爆禁止日本協議会